

寒さに負けず雪と親しむ

第14回ふるさと雪っこまつり

第14回ふるさと雪っこまつりは1月29日、ふるさと体験館「北上」で開催されました。同イベントは地域コミュニティ醸成の場として、和賀地区自治協議会が主催。毎年同時期に開催され雪に親しむイベントとして冬の風物詩となっています。スノーフラッグ、スノーサッカー大会や餅まきなどが行われ、訪れた人たちににぎわいました。スノーフラッグ小学校高学年の部で優勝した菊池敏生くん(和賀西小6年)は「みんなと一緒に参加できて良かった」と話していました。

歓声を上げながら雪の滑り台で遊ぶ子どもたち



来場した人たちは、浦崎教諭の講演に熱心に聞き入っていました

高校と協働のまちづくり

ひと育て×まち育てを考える講演会

ひと育て×まち育てを考える講演会は5日、生涯学習センターで市民ら約50人が出席し開催されました。岐阜県立可児高校教諭の浦崎太郎氏が「地域の未来をつくる人を育てる～高校と地域の間を埋める学びのつくり方～」と題し講演。「高校と地域が繋がることでまちづくりを担う人材を育成できる」と事例を交え説明しました。また、「黒沢尻北高校が取り組んでいる『きたかみ世界塾』を軸に、北上市のひとづくり、まちづくりを加速させてほしい」と話していました。

若手経営者が特任講師に

北上コンピュータ・アカデミー特任講師設置

北上コンピュータ・アカデミーは1月から特任講師を設置し、委嘱式が7日、同校で行われました。式では、(株)小田島組の小田島直樹代表取締役社長ら民間企業の経営者や地域で活動している専門家6人に委嘱状を交付しました。特任講師は教育訓練の助言・指導を行うほか、地域産業の傾向や技術情報の提供などを行い、より実践力のある学生の育成を目指します。同アカデミーの伊藤 彬 理事長は「実践に即した経営者から多くを学んでほしい」とあいさつしました。

特任講師を代表して小田島社長に伊藤理事長から委嘱状が手渡されました



参加者は協力して20メートルを超える恵方巻きを作りました

福はうち！ 鬼もうち!!

福豆鬼節分会

市教育委員会と岩崎地区自治振興協議会主催の福豆鬼節分会は5日、鬼の館で行われ約5,000人の来場者で賑わいました。

鬼剣舞発祥の地である岩崎地区は、全国でも珍しい、鬼を迎える同イベントを毎年開催しています。訪れた人たちは長い恵方巻きを作り北北西を向いて試食したほか、鬼剣舞などの演舞に見入っていました。高橋愛輝くん(南保育園・6歳)は「恵方巻きがおいしかった。鬼剣舞が上手になりたい」と話していました。

旧暦の正月を祝う

旧暦で迎えるみちのく民俗村のお正月

「旧暦で迎えるみちのく民俗村のお正月」は1月28日・29日の両日、同民俗村で行われました。あらど神楽(立花)が神楽を奉納したほか、こまやお手玉、たこなど伝統的なおもちゃで遊べるコーナーを設置するなど昔ながらの方法で正月を祝いました。また、同民俗村の行事「田んぼファミリー」で収穫した餅米で餅つきを開催。訪れた人たちにお雑煮やおしるこがふるまわれました。小原花さん(いわさき小2年)は「お雑煮がおいしかった」と笑顔で話していました。

訪れた人はおふるまいのお雑煮をおいしそうに食べていました



相手チームめがけ懸命に雪玉を投げる選手たち

雪玉を相手めがけて

第15回北上市小学生雪合戦大会

第15回北上市小学生雪合戦大会は5日、北上総合運動公園で開催されました。市内と市近隣の15チーム、約130人が参加。開会式の後、4グループで予選リンクが行われ各リンクを勝ち上がったチームが決勝トーナメントを行い優勝を目指しました。

開会式で選手宣誓を行った江釣子メジャーズの小原悠希さん(江釣子小6年)は「野球チームで参加した。目標は予選リンクの突破。決勝トーナメントを目指したい」と力強く話していました。

本に囲まれコンサート

図書館オカリナコンサート

図書館オカリナコンサートは11日、中央図書館で開催されました。花巻・北上に在住のオカリナの会「フェリーチェ」の皆さんが「ふるさと」など10曲以上を披露。訪れた人たちは一緒に歌うなど演奏を楽しんでいました。同図書館でのコンサートは昨年に続き2回目。今回は初めて閲覧室で本に囲まれての開催となりました。伊藤養子さん(滑田)は「初めて生でオカリナの演奏を聴いた。ほっこりする。またあったら来たい」と満足した様子で話していました。

訪れた人はオカリナの音色に聞き入っていました



博物館・民俗村の職員で行われた放水訓練

民俗村の文化財を守る

文化財防火デー消防訓練

文化財防火デーに伴う消防訓練は1月26日、みちのく民俗村内旧菅野家周辺で行われました。昭和24年の同日に火災により法隆寺金堂壁画が損傷。以来、全国で同日を「文化財防火デー」と定めています。市内でも毎年、同時期に文化財防火運動を行い住民の文化財の愛護に関する意識の高揚を図っています。同民俗村では菅野家の火災を想定した放水訓練が行われたほか、同民俗村・博物館・埋蔵文化財センターの職員により消火器を使った消火訓練が行われました。